



学校だより

〒952-1311 新潟県佐渡市八幡2002番地

Tel 0259-57-2602 Fax 0259-57-2604 <http://yahata-es.sado.ed.jp/>

勉強するのも「世のため人のため」

校長 渡部 栄二

夏休み中、大きな事故もなく2学期を笑顔でスタートできるのは、何よりうれしいことです。2学期の始業式でも、「道徳」を柱に「勉強をするわけ」の話をしました。

1学期の終業式では、道徳の第三原則「世のため人のためになることをしよう」というお話しをしました。(中略)さて、ちょっと違ったことを聞きますが、学校は何をするところだったでしょう。そう「学校は、お勉強をするところ」です。では、**なぜ私たちはお勉強を学校でするのでしょうか。**分かる人はいますか？(手が上がれば聞く)なるほど「自分のため」「将来困らないようにするため」というのも、一つの答です。でも、お勉強をするのは、それだけではありません。

今世界中では、1日におよそ4万人の子どもが飢え死にしています。1分におよそ28人も人が食べられずに死んでいるのです。そのような食べられない人は、アフリカに多いようです。例えばソマリアという国では、今でも20万人の人がお腹が空いて死にそうになっています。

ところが、かつてソマリアに食糧支援をしたことがあります。すると栄養状態がよくなったソマリアの人たちは、部族間の争いを始めてしまったのです。

この事実から、川島隆太さんという人は、「**きちんと教育を受けないと、『考え方が違う人を殺してはいけない』ということが理解できない。**」と語っています。

この話を聞いて、なぜお勉強を学校でするのが分かった人はすごいです。

さて、今から200年ぐらい前、日本の幕末の時代に活躍していた吉田松陰という人がいます。吉田松陰は、松下村塾という塾で、たくさんの人を教えていました。今でいう学校の先生です。教え子には、明治時代に勲章をもらう人が大勢いました。伊藤博文、久坂玄瑞、高杉晋作、山縣有朋、品川弥二郎、木戸孝允などの明治時代の有名な日本の指導者たちは、ほとんどが吉田松陰の教え子たちでした。みんな吉田松陰から大きな影響を受けているのです。大変優れた「先生」だったと言えます。

実は、この吉田松陰先生は、教え子たちに、「なぜ、勉強するのか？」ということをお話しています。吉田松陰先生は何と教えたと思いますか？(間を置く)

吉田松陰先生は、「**学べない人のために学ぶのだ。**」と教えたのです。この意味が分かる人は、もっとすごいです。

自分のために勉強することはもちろん大切です。しかし、みなさんのように学べない人が世界中には大勢いるのです。だから、みなさんはその人たちの分もしっかり勉強して、自分だけではなく、世界中の人たちも一緒に幸せになれるような知恵を身に付けるのです。そのために、勉強をしていくのです。実は、しっかり勉強することが「世のため人のためになる」のですよ。

夏休み中、お子様は人の役に立つ行動・家の手伝いなどに取り組んだでしょうか。実は勉強も人の役に立つためだという話で、2学期、学習への意欲が高まればと考えました。

学校評価アンケート 3者評価比較

児童・保護者アンケートと同じ項目を、職員も自己評価しました。その平均点を比較してみました。↑は昨年より向上。↓昨年より下降を表しています。(児童0.1・保護者0.2・職員0.4ポイント以上)

No.	評価項目	児童	保護者	職員	結果・分析
1	授業を工夫し、子どもに国語・算数・社会・理科等の力をつけているか。	3.8↑	3.4	3.4↑	児童はさらに向上。職員は昨年より大きく向上している。
2	子どもに、家庭学習の計画をやりとげられるよう指導・支援をしているか。	3.6↑	3.5	3.6↑	児童はさらに向上。職員は昨年より大きく向上している。
3	子どもに、郷土を愛し誇れる学習を行い、まとめる力をつけているか。	3.7	3.3	3.3↑	職員の評価が大きく向上している。
4	いじめや不登校の未然防止に努め、子どもが楽しく安心して過ごせる学校にしているか。	3.9↑	3.6	3.6	児童・保護者・職員とも昨年と変わらず、満足度が高い。
5	子どもに、友達に思いやりをもって接し、優しい言葉掛けができるように指導しているか。	3.8↑	3.7↑	3.6↑	児童・保護者・職員とも昨年より向上。満足度がそろってきた。
6	体育授業の充実や運動の日常化によって、子どもの体力向上が図れるようにしているか。	3.7	3.8↑	3.6	保護者評価が昨年より向上。過去最高！児童と職員も満足度が高い。
7	学校と家庭の連携によって、「早起き・朝ごはん」の習慣が定着するよう指導しているか。	3.6	3.6↑	3.5↑	保護者・職員の評価が向上し、児童とそろった。

比較した成果

- 児童は昨年よりさらに高評価になり、課題の見える項目がなくなった。
- 保護者も昨年より高評価になった。特に運動の日常化が過去最高。
- 職員は、昨年より評価が急上昇した。知・徳・体の取組に満足している。
- 3者とも昨年より評価が向上している。特に食い違いも見られない。



比較して確認したい内容

- 児童の「学校が楽しい」が過去最高！どんな取組が功を奏したのか？
- 保護者評価は前期が厳しくなりがちだったが、本年度は満足がうかがえる。なぜか？
- 職員は他者に比べて低い評価になりがちだったが、3者がほぼそろってきた。なぜか？
- 強いて課題をあげれば、生活科・総合的な学習の時間が他に比べて低い。改善するとすればどんな取組が考えられるか？

課題と改善策

● 言葉づかいに気をつけていただきたい職員がいる。子どもに対して「おまえのそういうところがだめなんだ」と言ったり、友だちと比べてたり…。子どもを傷つける発言はやめていただきたい。(保護者アンケートより)

● 生活科・総合的な学習の時間の評価が他に比べて低い。改善するとすればどんな取組が考えられるか？

◎全職員が、自分のこととして指摘を受け止める。指導の成果が上がらないことを子どものせいにならず、自分の指導法を改善する方向で取り組む。研修してきた特別支援教育の考え方を、どの学級でも実践していく。

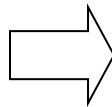
◎何度も足を運ぶことができ、地域の人と関われる学習を今後も継続していく。

学校評価全体会・学校関係者評価委員会での課題と改善策

7月24日に学校職員による学校評価全体会、8月6日には学校関係者評価委員会が行われ、課題と改善策が話し合われました。その概要をお知らせします。知・徳・体の成果目標でどんな成果が上がったのかは、9月2日の学校説明会で説明します。

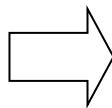
知・徳・体の課題と改善策

・知育では、大変成果が上がっている。ワークテスト等の数値以外に、どのような評価を取り入れていくか。



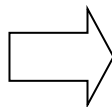
○基礎・基本は、ほぼ定着してきた。今後は「学習意欲」「活用力」についても授業の中で高めていくよう努める。

・徳育では、児童の「学校が楽しい」が過去最高となった。どんな取組が功を奏したのか。



○授業を改善し、授業で「自己有用感」を感じているからではないか。今後も授業を核に「成長を促す生徒指導」を継続する。

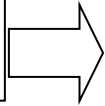
・保護者評価は前期が厳しくなりがちだったが、本年度は満足がうかがえる。特に体力向上4評価が増えている。どのような取組が功を奏したのか。



○体育の授業を中心とし、アスリートタイム・縦割り班遊び・のびのび朝会・各学級で体を動かす取組（ダンスなど）、子どもが日常的に運動に取り組む姿が保護者にも伝わったのではないか。この取組を継続する。

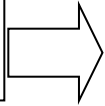
学校評価全体会からの課題と改善策

・学校外、職員の目が届かないところでの児童の言動が、まだ場に応じて適切にできない。



○学校外でも望ましい言動をしている子どもを紹介していく。そのような情報が集まる仕組みをつくる。

・細かいトラブルは、自分で解決していける子どもを育てなければならない。



○これまでのきめ細かい支援は継続しながら、自分たちで解決していける方向での道徳・学級指導等を工夫する。

学校関係者評価委員会からのご意見

知育	<ul style="list-style-type: none"> ○全体的に素晴らしい成果である。特に数値での成果はあがっている。 ○日々の授業改善が進んでいる。 ◎アンケートで1や2を選ぶ子に、担任と全職員でよい方向に導いて欲しい。 ◎複式学級もあり大変だが、より向上するよう努めて欲しい。
徳育	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもに寄り添い、取り組んでいる。さらに目配りを大切にしてほしい。 ◎他人を思いやれる心を大事に指導して欲しい。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣では、約10%の子に課題がある。その子の指導に力を入れたい。 ●生活習慣の目標をもっと高めれば、保護者はがんばるのではないか。 ●運営活動にC評価がある。原因を特定し、改善策を明確にしたい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○よい評価でも満足せず、なぜそうなのかと考える姿勢が素晴らしい。 ●職員の言葉づかいの問題が指摘されている。人格を傷つける言葉はよくない。しかし、社会に出れば厳しい言葉にも立ち向かわなければならない。厳しい指導も必要である。 ●あいさつはよくなっているが、下を向いてうつむいて歩くのを指導したい。 ●崩れかけた空き家など、危険個所に気をつけさせたい。

がんばった佐渡市小学校親善水泳競技大会

8月1日。金井運動公園プールにおいて、上記の水泳大会が行われました。日頃の練習の成果を発揮した八幡小選手団。ほとんどの子が自己ベストを出しました。応援にも力がいった一日でした。

5年女子	50m 平泳ぎ	6位
6年女子	50m 平泳ぎ	6位
5年男子	50m 背泳ぎ	6位
6年男子	50m 背泳ぎ	4位
6年男子	50m バタフライ	7位
6年女子	50m バタフライ	1位
6年女子	50m バタフライ	3位
6年女子	200m 個人メドレー	3位
6年男子	200m メドレー	8位
6年女子	200m メドレー	7位
6年男子	200m リレー	6位
6年女子	200m リレー	7位



子ども育成会のキャンプ



7月12・13日と八幡子ども育成会のキャンプが行われました。天候の具合で集落センターと体育館での実施でしたが、テント張り、食事作り、キャンプファイヤー、肝試しと、普段できない体験で、多くのことを学べたようです。

終業式での発表・通知表

研究会目指して職員研修



1学期終業式では、各学年の代表が1学期のがんばりを発表しました。内容は、前号の児童アンケート下に載っています。その後、教室で通知表渡し。担任と1学期のがんばりを確認しながらもりました。



夏季休業中前半は、ほとんど毎日職員研修です。来年、6月の研究発表会を目指して、お互いに学び合っています。どのような授業を作り上げていくか、ご期待ください。